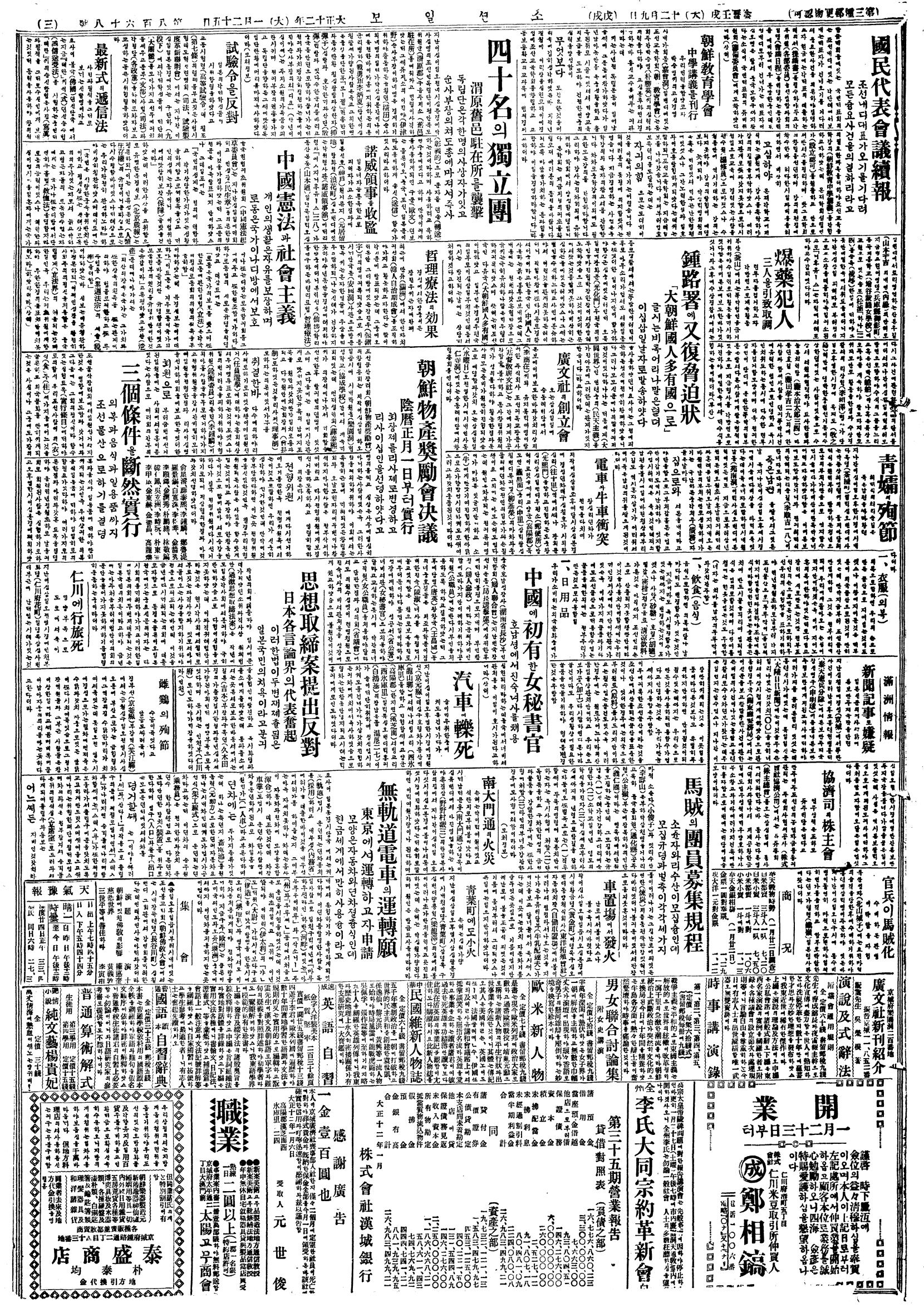
		E.									
	TOTAL TOTAL PROPERTY OF THE PARTY OF THE PAR	100 F	一月二十四日前場	1年の日本の一年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	24 對すり陳述も後の六時十分の散	者 成为ルリホモル 記載が 味注意中 中野虎吉氏 何故 三地和	図 云智「政友會則の日防事がとき」 寺陳述がの此と或者の歴道の	徐成撃時を僅可で大百三十	7.肚兵も尼港事件3保証占領を演み外合も治憾の可況且北	育男 建滚米。三是出号,同引委员员男爵 山田、武王、李三其次。引到钱合策,協一嗣原委员与伯爵 兒玉 秀洁	説明の有が
	可可可以		<b>嫁綿糸布時勢</b>	■  大量以出の資格寺取得も學生諸君  前  化可七の時代交明の勝利者小耳以	田選相電氣動力の供給擴張方針  の	機軽減や地租や問題えな者とは云なり	3     減き論す五政府公債政策の始替   早速氏外更が農村の疲弊地租	オエ華府倉 瀬平結果海軍網 でい 追加線算を此を別問題	『不拘引ユ結局今日早如砂失11利亞撤兵3好機を刺激が歩	閣議や上奏問題解決3 同副委員長 内田 京日本4 4 二十三日院 決算委員長伯爵 奥平 昌1	内可開育司(東京電
: :		は、	朝 紡 一六五〇 一六六〇	本精神の完全は対から見日三時呈進	資  議長や時間の延長を宣告が平其。   重句講究がジェリ	が端	10日本の単然の日政府を1	年度豫算せ一億二千萬國町豆家羅き職者必要り有が立	貝仕の有が超年を推発	の 對 か い	號
(元) 100	······   6方) 寄	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·		は 小資格の斗かそびを置上皮相的外	極 小马必要也故之財政會議の日	市來藏相早速君母意見	・ ツーガ叉七或方面の制肘のは	リー 対夫智 内田豫算を根本	8年人命を犠牲のツムロ加	租移讓案 (東京出) 日本貴族院各常任	July J
(日)	#北清	(1) (1)	女 取 一九七〇 一九八〇	世寺選系受撃なる勿論の中▲ユリー道が學校の生徒なる卒業生み同一	く。足	# 比三条州の京半小と「小編成→後吹対のりで事を附言	三 「一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	砂結果今日狀態の脳も考り	「恋影響争印하正内로を英大宗論コ感情を害み・霧回의人	文	八一次行
-1	同新 高	风彩 街 三回0	四引	№ 學の關하作日本學校令の依하야設 で 1 対學校の生徒など卒業生の製學人	第一努力を守む故子一時の急激ない。	6月香豆や質成り難하五又像 日早速君の主義のも質成を习	品 可止包養ト育止小女子 c 養を	此の件対のリカロ多年放漫の間の傳の七聲の高の五寶	四伯利亚四年間可駐兵4分三分,展一百円一寸	可發向セチ云々 一般要却小星快和史引斗 明南方行き中止計五數 計・審議すり呈計五政府引所信	一般意言表が
同新国 合	東拓騰更高	<b>●最高力力</b>	短期取引後導	7 升斗司七朝鮮教育合の依むの設置	感力	おサユ首相を物の三程度小行	10 平行政整理の徹底計争俟を表明的と者の引出とは	濟整理緊縮物價 調節等中	口を売りた	後藤子の招覧の満腔の人物家の對から調査委員会・新	十一余等 7日本
· 中國高 100 ······		后意	大 ボー ととり (100) 四二四0 (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11) (11	1 ○三去二十二二日の破布日の日本の格問題と解決の日の日本文部省令	龍加藤首相 大量之大口四十二	いた型宿り切むと、 答明力を 臣の譲りと 中政府と時代の 順	可他道才無可止余之國民可	早東整瀬氏 政府の財	D貴族院會議·· 日外交開	の秘書『小毛』氏曰 「中庭去」書がり高が小警察免集で一一日發電) 一露代表 比き實行列不能も日緊急調査もな	18人叫記
無数 高 × 次 ·································	同新 阁 九00	(取) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( ) ( )	に 取 ―――― 一一六〇〇安 取 一九八〇 一九七〇	理がい直決的を沙さから朝鮮學校資源のと言い教権がいけば人員を考か	大 並後公債政策、剩余金、行政整定 更对內閣大臣日割據主義专出	<b>塾村の故土専門的の事や大藏</b>	改 除萬圓四減少の引きる繁日 リーカリカの降海軍を合う	両様)其次の市來藏相の財政演演説を行すゆ4中(貴族院演説	加藤質問要解	露代表渡日 +決定並內引即政府や十二年度の 1	<b>片</b> 露化
明彩的是	······	最後	な 及 一型九八〇 四九七)	中头对经验市中外各學生言可紛紛	早 简等中國社政府日方針各間司	加藤首心 財政經濟のみと	· 三一割手不出す四此七縮少小で 甘や許刃難す五又海軍上同様	可内田外相の登壇が呼外、貴族院道設門同様)で行	一萬間	及國際聯盟を出る 附藏なる 同意な意見の無心熱様の引な	<b>一、氏 의解 決案</b>
追馬 第 500	後期 同新 沿 三二	粉络	· 三緒局八十錢叶上寺可引	スストでは、日本の日本の一大田村の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の	题 地方投口膨脹斗地方比斗苦痛!	力を設生対の円型時七編成を汲る立編が支持の下記的者の	き者の中特可本院の建設号無 を対する日本院の建設号無	相平貴族院內村外同樣二日	が洋西京学院各門助領争減む	(巴里二十三日發電) 土耳其(な血斗)政府を伊國首相「千소리リ」	当日
場 名 今週中 米 週 中	出出	京林崎寶貝傅	長後斬傷斗勢豆三四十邊斗丘と八圓五十錢将付前。 歩調八圓の	)一個老護即の首邱の孤忠の奪色のよいかの五年者猶豫が中小結局の七十	大口喜六氏 (革新俱楽部巻) 相の此、答の後の其次	リト・論でという。 本年像第4海軍條約3效力も のでは、1000年のでは、	は、2000年の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の一部で、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	初言論戦を見立からの傍聽船を	口本油鹽朝鮮東海岸航路	上攺府態度强硬	
プ語和公司		1 0	一大新冬阪地の好調を適から八田七十銭寄付から八十銭の止か	27、中市七大小官僚ユモラモ悚懼逡 12世 5 天 地位の 12 権 木の13 備 徳 月 陸 6 1	又   対小りすびモル再次質問なの苦の   お小ば及行政整理二年調を翌日	群火主変了不可能計 <b>門可火工</b> 面当制肘列基因하り調稅問題	- 火悠里早不散底叠述补工待司。	日午後一時の開合하立加藤内関(東京電) 日本衆議院モニナ	ないのは のいません ない	提出をいいます。	八一力戦艦を決一萬弗引海軍
米段が歴	差が確認し、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは	九 弛む後傷を止ぎり高近の対 限を十九錢の始から十八	<b>刈付の勢豆前止價同樣の豆四十.稍が强氣豆立台がH京取モ依然</b>	四日也なり、東門とこる女はないなのの日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本	万早速氏 藏相。四千二百萬明	小微温的も所以の中政府や或振興策を失敗がダイエ 此や政治	<b>きのふのり結局政府の計規要求委託すり根本整理</b>	二十三	可對하呼其後算案き議會可提出하  年度以降三箇年の近海航路補助額	美工工	
其人 Bat 大连番	・ 質 署 ビーイ川米玉ル号別例	七十十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	Mの八十八姐二旦入 三日の人家的場を多少强態呈止むり後男を	四多サテ▲ユリ、二四石の成立习實	易 題金斗輸出解禁問題を詳細すな	題可入亦作政府习物價調節	9 中ユンスカイ能 中ユ政	衆議院議	(東京電) 日本遞信省の日十		第一米 公
	富中兩限。依然不成可及先限之	限さ十五	後場稍有强氣	もはの中齋藤氏当斜旋せ效労小居	D on L 蔵削や更可小債政策物價間のLand Table Tab		不成少可以比亞特徹底的 Resident and American in the Amer	-	南助費第 <b>圓</b> 咸額	村湾	一
五十入 1101	一二錢叫止並又復稍高自報手接可一▲第六節 阪地九節二十三錢	限辛二十一錢一口至開散市止市司限辛二十一錢一口至開散市止市司	· 第	文字 コロミは丁甘なと後子員すると名子員は大日民心を恣いすせれる神山口	サ大正十一年度以降十箇年の繼續でリー域七萬四千百八十三町歩の野の	早时二十二年全班10条排列头1	質り目常社会領コ電面グリロ呆 時や指令書の記載がや維持投의	学可限外務行の出限が9	· 別鮮西海抗路	(経育二十二日發電) 米國國務卿『齐至』氏小辭職を意志小無命中	経育三
● 新麥 五斗入 1700 一五	一卷戒整是二豆單一口豆用止部日以股之二十九錢の始即日雙力之極可	電影二二番。	当日   100	東洋縣代의往課者博考可可不朝鮮四十五年二十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五十五	5 荒磯・最激越が作治水上重要が同一江、及大同江半八大河川流域や9	一、成鏡化道慶與那薉四面上   補間 B 沿岸 B 除き	お七條 朝鮮恩賢の必要呈認可此を定す	富金9多하ゅ膨脹하せ同時9人 及月末資金3需要各會社銀行	共同精米所內農商務省食糧局事		长初
元 本 五 → 八 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六 六	● おお立當中兩限を亦不成の四年本 外市館 阪地八第二十級の反逐	電話一八	· 置計立利週小仔包督是肖引主。 出到《正近頃日本株界七内容	文字是奉刻む五日至五碑石章奉建以	吧 果江、蟾津江、榮山江、城川江、東津 省分置官門念の丁芸で「記す」	江沿岸但新赣州府斗赣州郡九第一 不安州道希拿州府司马。明	育 明六條 維持費用額七年額二旦母 新丁二百年	바下旬♥至하��落歳末��次灣4×4八千九百萬仏豊♥ 仮合	四、等所東京架川田町一合名會社三、價格 一石哥約二十四圓	整接き発表が立佛國で對かれ石炭を 引渡対のりもいかの	動かの更可
五斗入 一、五二八	小品品	度 医 体 買	本生系極出額の六篇則等三量で	日の日本宮内省中審議も結果す▲日	一首十月曾川京祖皇界は一萬工、文本の中子此号施行州皇方針を取引立	計算得計	計)の指定さいの依むい此書 ・	7月11日 1日	二、豫定數量 約二千石一、期日 本月二十五日	逸炭坑夫の同盟罷業하や者外十餘萬人の達하ユ 商工業家도坑夫側の(PMA州レビ二十三日發電) 佛闕の 炭坑占領の抗議하や意味三獨	
▲正租 外债入   三四、七三九		き (1) 米豆取引所仲買人	一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一世の一	おけりの野り祭をより東けの機合の		<b>馬亚場所の出入하立又</b> が呼道知事の許可を受	成 一局長(以下單句滅信局長の斗解が分五條・創設賞と朝鮮總督府滅信	步凋暑量补工去广一月艮小宵行額可縮小斗共引限外發订三	左がら は 一般	十餘萬人	
五斗入 tilli	総の小 全第四節 阪地後報又後十六銭。	叶 ▲第三節 阪電四節九十一叶 小弛並後止하다	三個月後頃で其影響の彼及のに出現の正日本経濟如何斗朝鮮で	一天 きょう さか官の専任者 とか官の専任者 と	四一かり豆か正砂防工事と國数三年施と三二十箇年間の此の復復遊林舎行	主民機権一旦外運轉の七冊の日共他機権せの己外運轉の正式の	計 十 日 内 号	日新春以來囘數小順調豆進行す	の米の出	獲炭坑大同盟罷業	10000000000000000000000000000000000000
▲綠豆 四斗入 100	総の刃 後のりかしと後が見致したよう一口の 五金の外の ない のの 外限を二十五銭の 始めの 17	<ul><li>後限や二十三銭の始みの二</li><li>十一員五十銭</li></ul>	經濟如何量日本サ七六個月後至一經濟循環區域中例量學中と日本	四日《入京	一千町步の對は中寫先第一期小業二	船舶や戎克	請願者と前の指	原創作祭 多行物・十二月リカの	54		償金の支拂
五斗入 一、六三九	七不成 1231省比量後外工業中兩長を下級の三	の 更可直銭の報道の共可當限の ▲第二衛 防門後者力十八	一難境のそ眼前事實の己口然の近過級のは活氣量出版対关を點で	殿尚南北道の出張中のモルニナル	荒疫   四十七萬町步中二十三萬五   武駿    結果の依하・主安河川流域	11阶府令으로将左斗.	書音請願者の川交付首 外共可維持設の額を記	陈外骏行用·sh:11月末	敗殷	照すり爲すり獨逸國内の 經濟的混亂の增加之故之今後睹三日多常) 獨美的形) おそ同作。近別での下位間 14	で記地方占
五十入 六八五〇 六八五〇	では、	著夕雨がきず二丁	一重中の小株式の野む金融の尚む一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一年の一	▲ ☆ 这 道 见 ( 民 立 大 學 準 備 委 員 ) モ	一定が七地域の對かの從來の調查及問が軍器が立即	船当出入及運送の関連件を一日二世線江及豆添江沿岸の在並外域船	サ受理を	r f m	御	明合属の整河の	H
▲大豆 四斗入 一一、一大六	がはなり これの 大学中学に	<u></u>	3 三 中要せ日經濟界の先驅4	人事消息	金朝鮮の在む荒廢山野豆治水上品	三年朝鮮總督府令第六十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	事山の依むの此を受理対のの計	月艮学彭艮	र भ	ジ	<b>※</b>
▲白米 四斗入	「「「「一」」 「「一」」 「「一」」 「一」 「一」 「一」 「一」 「一」	一節 當中國是	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	新··茶菓与饗飾の有むいの中 止係者約三十名号京城俱樂部豆招待。		出入運送牛次正一トアンタ国の場所	土地判决	可以で後十二時十五分の影響で	吸一	色女子鱼类	印制
五斗入 一〇、八五九	八小州市 8日 小六銭の活象小無利止の子	九十一巻の己二節九十五巻中南京20分後場の入事の大阪初付二十七週八十十十月	七圓七十錢寄付可味步調発十銭七圓七十錢寄付可味步調発十銭	席名	直釜司曼训示	几日台	六、鉛舶の施設のモスや其航舶開始コ要否	無可遂行即之者可引	(東京市) 朝銀司整湖や既司行	大小りで同國の市民の對かの佛國軍隊小『보开口記鉴の内務砲で	執対のりも
二、〇九四石三斗音増引	- ハドトニ・・大阪・デスト美々始から場面・又復焦付から五銭々のブイ彩ーに三分阪ペニナブ組め		大所是艾四月万周十年至十二九國八十錢二豆七十錢叫止亦與	南京	大正三年祭務総監部令第二號や此	電報配送事務開始料金額四十分四十分	の性がから治話呼出事	同や既定並計畫の何等の支障の三、佛伊の海軍批准や遅延되十三	朝銀部局收廢	三日發電) 獨逸々武裝き行対の円하고 但攻勢的態度をプリー・	
日現在37 市内 大銀行 穀仁川穀物協會調査4 依さ	小六十隻一口皇を見る二十八隻1●年の作のできれる。	の後・温念	· 健二星四十週四十二 四安文章 一个月 4 一下一万四分三周 十二周 十二周 十二周 十二月 1 三月 1	.		務長収扱지せいかや者)料金額	おゆる電報配達事務第八號の事項の	4 乗り出席す	貫	<b>岡逸</b> 文 行 對 佛 亢 議	岡
心穀物在庫	双约氏夏呈切付하斗 一丁高寸比	孫 有	ユ仁取僖と一百十六頁の 見跡で室田中新田マヨ約一千株取引日	で福走する名が、大道で表現の大台間様		料金額3全額同上(電報配送事(電報配送事務き取扱하や者)	や野山野	努を決立方頭引用糖を無导り放 ユ干渉監視を受む者といり斗政	撤兵の反對が引五決議하五尚且上一个馬賊の横行の法が作極力政府の	<b>調停の勞香執が及り工論が必かのみ</b> ・豆が昨日『早)の』地方の内撒兵督事を條件二三定なの七喜悦が昨	一二豆から日
電略『ニー	○ 一一間六十没先長を二十三面二十四回二十二回二十二回二十二回二十二回二十二回二十二回二十二回二十二回二十二回		津坂田金應龍の五買方市川川崎 モロ手振のモ質方井口南源北口	き 後担 み 火き 日 なき と 京成の 女部 中 合力 共済 3 目的 ● 三 州 殖産共済 8 で		電信電話所新設及宣信事務開始工作信息等が開始	五、前條第一號四事項の對印	志陳通り盡せ者	守備除四駐屯者必要登場中中中	可能性の言及する瑞典首相兼外相『早むる今』氏と佛國二丁多書。 おまっ 請求事業で 10年間。『二十四年7	月間間を審議
大大利田	十九銭も既然反應当報を受引工機		七十錢母。豆結局七十錢可止司也四十九圓八十錢各付亦作步頭	沈弘泽、洪淳母氏等《合資殖產斗六元。 一	一項、第五條四規正或4第六條第二條第二項、第四條第	限的"其不足組。徵收替一、 是有人的生态发	四、期節き限하り施設を	コーツ 化減 互誤	挙天▼別が立衛州¤現状を抜然が 聯合會セニ十三日第二囘¤大台号	三方は、温泉の新聞の場合は、温から、一方の一方のでは、一方の一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、一方のでは、	- 併軍
七川府海岸町	으 어 글 자	一 一 一	立台の日京取七昨止立り五十鐘を入電司四本傷人氣七多少强軍	of the state of the state of	平的指加書首都市之整然官署書	社性寺段般の適利夫はや意思の料金者一年の極算せ額)の指定	三、施設す	では某意度/無計・確認さ校立	豫撤退の反對하や滿洲日本居留民(奉天二十三日發電) 満洲守備	· 하라	<b>一</b> 加引用
○ 仁川米豆収引所	<b>지供落む後の傷者止めて信を作み立多少軟化が外</b>		後強調 呈頸紡新の二百七十一風朝大阪大新の八十七圓三十錢以	ヨ目的を達成がりを努力を対すり 其留意が立機宜の措置を講が作所期で	提出する申請書及や周書や主耳	も者の在みのそ施設期間の收入も額(年度の中途の施設を開始	一、施設學項	建せ折れ	日人撤兵反對	(物件号差押하ら「咎し』『予し卟』刚地方の新経済的制裁。そ三十億金貨馬克内債募集者 承認式 りりずり伊爾モ更	一一時間可要求可
東貫線石数 二萬九千七百石	價三九十一錢低價量生하五九十八日,不可又二十級地 "我早九十八日	所以明系制料中十後の近月系無可阪地七周九十錢の豆反落	前場小高	のそいのみ各地方のイヤ、層弦の一切なる。 上智を材め上語版 で不堪	*************************************	の對かい左記各號の依許の第四	左司各號內事項者記載中申請者	加藤首相	議む事号傅達か七光榮号有な」	三日發電)『早対し、平司나지む』紙所報で依む予獨逸の	五
	二十八錢。	一十八圓○六錢甲版電争接中	京収前場	・17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 - 17 -	<b>むエスン政府上必要も指示命令</b> 有事中立認事と時と許可量取消	舌所 4前年	ガ二條 施設き請願ユ자하や者 九、電話呼出事務開始	ヨ下州此條約3效果を保證する	のは我上院の日本帝國の貴族院の	頁問題  弘  獨  佛	た一 募 は
· 組 高 二	命が一つり、「一つ」のでは、「一つ」のでは、「一つ」のできません。「一つ」のできません。「一つ」のできません。「一つ」のでは、「一つ」のできません。「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。」」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。」「「一つ」のできません。」「「一つ」のできまました。」」のできまました。」「「一つ」のできまました。」」のできまました。「「一つ」のできまました。」」のできまました。「「一つ」のできまままり、「「一つ」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「「」」のできままり、「」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「「」」」のできままり、「」」」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」」。」。「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」。」。」のできままり、「」」のできままり、「」」。」。」のできままり、「」」のできままり、「」」のできままり、「」」。」。」のできままり、「」」のできままり、「」」。」。」。」のできままり、「」」のできままり、「」」。」」のできままり、「」」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」。」	司二十三副十八後州台斗小一切付二十七周九十五錢四入電	<b>1 三四、10 一二四、四0</b>	日発小と木養する種」所できます。東京の一大学の中林野調査の進行中央	分の遠反が正又七公益上必要と別六條 道知の許可を受む者外法	、非恩甲斐度の在かり	八、電話通話事新始	三関や如何も諒佛伊兩國の批准	では記り支援の一旦なると	計争表明がダイ中	月典を意志ルお
		)今前男4保勢中强硬斗人氣星(釘付形勢)	和 九四、八〇 九五、三〇	適常可措置な旨を指示された行うのからないのである。	内の道角季の大阪はなの割りませ	施設当維持額と強力	六、電信事務開始	豫算を此實行を前提呈がの編成	各派交渉會を開す立協議も結果議二十三十年前『時院内議長室『月	「日本語」 信仰・1 現在記載・5000 であるない。 高水道のでは、一日本語) 信仰・1 現在記載・500で、高水道のでは、一日本語) である こうしょう いっこう	1 十個金貨馬
二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十	3. 是地方是家里依然随时保护等。 1. 是他有一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们的一个人,他们就是他们	一月二十二日後場	新二七二、六〇 一七三二三〇	平内訓练九號を依事。此四數理四 商	第三號『事項*變更も時を十日	・ 一條・郵便・関を施設・維持・ 一條・郵便・関を施設・維持・	四、自動電話新設	すらる佛伊州城の中美力	十二日3日本貴族院議長3對かり (東京電) 波蘭上院議長4本月	一一はり、田内によら、東京は、田内には、田内には、田内には、田内には、田内には、田内には、田内には、田内に	计付
定價格	T i	一仁川期米	紡 二九一、〇〇 二九〇、一〇 新 八八、五〇 八九、三〇	<b>ル号サルド中國土保安及治水上等域は火田や電猫が展布林線怎上大陶器局に</b>	中藏書「許可證金添付計・要計	有替此境遇	二、郵便集配所新設	昨日最近では、1000年間の横列を登せ如何が	波蘭議長電報	な口や見上一生主義と「T	正大
高價 二十三侧三十五錢	いった きせんてきょうけい はれた こうしょう こうしょう こうしょう こうしょう はいい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい はいかい	manana	城 70八五〇 70九、三〇 街	四、火田의整理	第二條当規定→前項ョ許叫申請	百百	一、郵便所新設	が咋公女も交換がゆるを原料で中南満洲で郵便約定与保留で製	二時二十分の散會하けいのみ	歌 米 情 報	
二十三四三十四日後復(電話	五零 風二十八銭 9 始も比例 9 推算する二十八銭 9 始も比例 9 推算	話 登容七番、五五	一月二十四日前場では、大田の一十四日前場では、大田の一十四日前場では、大田の一十四日前場では、大田の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の一日の	果遂行上遺憾の無州 おりを望めた	事の許可を受ける可ないのである。	司段の行	游句	ヨ科撒せ!! 何がが立れがとゅる舎下の解決なみ如かと将次帝凶	<b>お非協議が平岩崎幹事小議席變</b>	斗學事む七永泉氏の抗縛命令者 取消하五本原基の上京	
大衛・二十三四三十一銭・二十三四三十一銭・	11 恋き呈せる『昨後場初付七大阪二五百石喧買い七近年稀有も閑散の		大反朱弋	『見対各種『方面×注意が外本事』 復星州最多む効果手収がり手期が	第四條 第二條 3四號乃至第大號	龚	一月二十五日附府令ニュリ左斗如の場所が、日本の日本時間通信施設規則も	<b>や問題号英米</b>	4	歴州하五福建督軍寺 廃止하五編8建計伐命令者取消が五薩線水、■	
四節二十三國二十五銭	39 を催・十丁甲 變動 n は相信稍低可能狀十作品	取引所仲獎人	7級 二四七、00 二四六、四0 1% 二四五、九0 二四五、五0 10 三0 三 50	サルヤ某條冗費者除お五最少早級大Eを抱せり無男お五工事の實施の對 Tu	許可避る館へ見易む個所で此る。 は後継がお許可證を受付す	其事由当如何者不問斗立既节執前十條 施股当工事者廃止も時を	施	却引不能が中が平加藤子や一流上甲保険を我等國民で寸時王忠	終了対外リを時や二十四日三種	大總統令公布	
二角二十三十二十六线	『七願著も感應す無う	11118		シ타・三木亦葉の對お・経復日念 Mit・木本葉筐施の総旨・徹底のおよ   111	治二條 第一條=許可量與む時や一大、航行期間	總	請願通信	依ずい支那領土で我国防上経済で遺憾を専門本で過去の努力で	. •	<b>电省肾軍發止</b>	
公定 使格	賣亦難買亦		佐東 二三六・九〇 二三六・一〇 一位表 一三六・九〇 一三六・一〇	プロス地元住民で對称中で努力な「Rサセ計画上及技術上最終可努力す」	<b>九、航行區域</b>	明九條 施設り属がい誇順者の設	11+HE % HID 75 7 7 7 7 1	の一般を重要がある。 対象の	日本ユ高橋院内線勝小倉長店で對	<b>體贊成が七者小多型模様ののみ</b> 移撃事士公使團の提議が立り予其意見の 一致確定のス	7.1 一条外头丛叶大
高恒 二十三十三十三十三十三十三十三十三十三十三十二十三十二十三十二十二十二十二十二	四〇世常市協人領や家外沸騰하斗二十四〇一接キュニ十三個十三綾平前等十終		一月二十四日前場	を以り有計・三年の出資行を除む 一次の一般の選手を指するという。	三、船籍地	顧り	二十日 卷、聚等二号 九、0里4、4克	3ー21・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・1・	「も二十三日正午院内休慰室 9 4 期」(東京電) 日本政友會代議士會	中観道を開発	2
初付 二十三個二十九艘	後も前止度ミチー丁有高も清優を昨後事を大阪初付二十七週九十一	二 八 二 八 二 八	大阪三品	、 とことを表していました。 これでは、 こ	17   17   18   18   18   18   18   18	八分 諸原者第四条第二項9体の は、	十九日 おくさでは 110 2000 2000 2000 2000 2000 2000 2000	所是于19万二年代17万四月! 神智必要小有对中午也小政府与	士會	東鐵管理提議	
比が「高低年差が十一丁可見昨止」、「以鏡ふえ眺返がダ中水三銭の場合で、「「「「「「」」「「「」」「「」」「「」「「」」「「」」「「」「」「」「」「	100 一月二十四日前場	同金剛山 1211111111111111111111111111111111111	商况	1月14日では、日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	中語者及船舶所有者再圖籍。	微	一月十 17 2527 公1 14、2535 公1100	下張は上京日東では日本十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二	では、		) 4
<b>丁醛三里二十九艘</b> 母对小弛有日婚	十一 する 計	ニ六六		₩三息此可復然事業+行前內里前	31 條 前條5許可申請書を七左	総会十的付おなで行せ	一般 行 高 一級外發行	至長久村他歸母領土▼兵◆駐屯	日子	交	
								٠			



	Л <b>-</b> }-	<b>六</b> 育	八 第	报	· <b>B</b>	解	<b>弱</b> 日3	正十二月一年二十正	이티시우러되로나	建三第) (四)
어영 마귀 하에 어자자들은 나고성 다격면에온는 각 나씨히불다 것도한 는뜻조폐업지리바 한심치녀한혀와 어사 이안지일영상	그리가 그 씨에 이 기 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시 시	지교릿통업수히여김은 명자로 타야가오 그리하야이반티로너 자에게 더하야 한줄기존경(會 장)하는 것이 검접가심에더를 잡었소 그러나영자와결혼할씨	세명 이당한 가장이 하는 사이 이당한 가장이 이 시간 이 이 이 한 너지 이 이 이 한 너지 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이	몸 거위하도 맛 나 잇하이 을 오하고 얼날 나는 야 을 야 잇시그 의것 / ^ 위 녀 녀 든 얼 때 이 인 이 힌 하 자 이 바 셔 에 러 줄 셰 미	각것	잡산 말것 먹은도プ 은것로갓는 이열히 뒤온두치 모흔정	: 소야허 그 의사모 ! 선져본한 런가 예오 ] <b>구  </b> 일번 터금 계	라 그 한 한 시 한 시 한 시 한 시 한 시 한 시 한 시 한 시 한 시	합의 보는 이 이 아이 아이 이 이 아이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이	第一二三回等の星後日
日本 は	福の民進利夫的職の民進利夫的職有福の日進利を関係された。日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日	作人文作人文を対している。	中国	日常の大学を開いている。日常の大学を開いている。日本の大学を表現では、日本の大学を表現する。	を と		산에것잘와자혼녀 것요우못결률을자 이치 한혼나하가 엿본오성한의약 소나직각것돈지나	험가하든 만성보건 아무리 으나는지 있나다 이것 나 모의바 스하더라 혹성 말안이안 면 앗 귀하 작성 미래오이 소 눆 얏이길 안가 될어 한소 셔츠	다 이 지 된 는 복지 의 한 는 복지 의 의 한 다 보 이 의 의 가 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의 의	ナー Bo 水!(七) 特共 E
は、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	一、助機人の服業と も應役や一切不得 ・、小作人・豆は数 禁む事 ・、本作人・豆は数 ・、重賭租(テマッペ)	動報と対する。	一、 で ・ で ・ で で ・ で で ・ で で で で で で で で で	大賞俗の依みの 大賞俗の依みの 地質を随から植付 地質を随から植付 地質を随から植付 地質を随から植付 はないがと がりいれたの はないがしま はないがしま	명우 등 사 (灰色) 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이 이	を際の日本 ・ では、 ・ では、	州際 号 {	也斗半該左租 斗モ火 発量分出る本を を登りる。	2000年間 1 2000年間	中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、中間弄絡甲依むみ、
1、事業報告3件 常務理事李載滿君9口頭報告小 情發用事委 八 貸方(收入) 科 目 金 額	項の有おのみ、「一人」が、「一月二十一日午後成平青年會館の一月二十一日中の成本の一月末日々以の事中の一月二十一日午後成平青年會館の一月二十一日午後成平青年會館の一月二十一日午後成平青年會館の一月二十一日午後	與全里出入已定明 整會 「與一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個一個	ニーランド三則)な渡りり比と次行の方面の日本一区式を分給する日本一段の一時頃の附近の一時頃の附近の一時頃の開始を一月七日の楔負一同の川分給する二月七日の楔負一同の川分給する二月七日の楔負一同の川分給する一月七日の楔負一同の川分給する一月七日の楔負一同の川分給する一月七日の楔負一同の川分給する。	島型がリュアモー般製造の川を開発をできる。東京のでは、大学の大学のでは、大学のでは、大学の大学のでは、大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	「大人工学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大	一川殖産 楔 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	四事務所呈返戻하立細規を定すまたので、大学では、大学では、大学では、大学をでは、大学をでは、大学をでは、大学をでは、大学では、大学をでは、大学をでは、大学をできた。 一般 はいかい これ 煙草及酒類等の 百無一利等氏の 發起 生經濟上の は、大学をできた。 一般 は、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学では、大学で	教育會發會式 問題常局叫付七道內敬職者至外 是具組織別하立去二十一日午前十分 是具組織別하立去二十一日午前十分 以专行하点以可以中校內可付發會 以专行하点以可以可以以與公立小學校內可付發會 以专行하点以可以以與公立小學校內可付發會 以专行的点以可以以與公立小學校內可付發會 以	「中計の」君の機能の有も後属十二二十分の閉合がタセマ其後属外別を中文明をおいて宗教・教育の現金を文明をおいて宗教・教育の理を世文明を結論氏、朴德賞女史後、全に海氏、朴徳賞女史の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の一般の	等・傾回母樂家中務が及△可外一個別次の中(成與)  「一大」下午八時の聯合計論會号當地群立內の母別機等が会員中代演出。  「一大」等の時代就與)  「一大」等の時代就與)  「「一大」等の時代就與)  「「一大」等の時代就是  「「一大」等の時代就是  「「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は  「一大」等の時代は 「「一大」等の時代は  「「一大」等の時
「節約宣傳の関すの『黎明年天』の日 野頃の飲食すび ムロールドー 関連の 野頃の飲食すび ムロールドーン 「野頃の飲食すび ムロールドーン 「野頃の飲食すび ムロールドーン 「野頃の飲食すび ムロールドーン 「野頃の飲食すび ムロールドーン 「野頃の飲食する」 「野頃の飲食する。 「野頃の飲食する。」 「野頃の飲食する。」 「野頃の飲食する。」 「野頃の飲食する。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野頃の食い。」 「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、「野山、	吹良、露西亚避難民狀化質寫等等 一七時早日―道會議至内の4日―地方 一次の1日―道會議至内の4日―地方の1日では一道原地方課の日子―前費節	が得別がの質別をは、一般体生の関が諸極の同とは、大の十四人の中のよくに用いて、大ののでは、大ののでは、大ののでは、大ののでは、大ののでは、大ののでは、大のでは、大	と事代別リ銀方表也一般所式川間 中間 一般の 一般の 周知書 要 書 事項 3 傳達 おから 4 後一般の 開知書 要 書 事項 3 傳達 在 一般の 明显 4 全 電 現 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 後 一時 早 3 時 内 有 力 者 約 は 4 年 で 1 年 で	中日浦頂迎日座劇場内の日誕信局は師、來到하り貯め宣傳活動寫實技師、來到하り貯め宣傳活動寫實技師、來到하り貯め宣傳活動寫實技師、來到하り時代選舉(一)府町洞總代選舉(一)府町洞總代選舉	本月二十四五兩日間毎日午後六時治徳兩氏を豐山、三水、甲山等地の治徳兩氏を豐山、三水、甲山等地の当職光を大きり六郡の聯合計可高等で数を不日成之三北道地方の惟一門金宣具所金宣具所出面。	明新生命斗平等の舞臺セユー快楽の新生命斗平等の舞臺やる場所では一分子の高等普通學校を設立ユスーク子の高等普通學校を設立ユスーク子の高等普通學校を設立ユスーク子の高等普通學校を設立ユスーク・リールでは、	所代思朝書順憑하ゅ者々進行中の 中可中(順大) 中可中(順大) 中可中(順大) 中可中(順大) 中可中(順大)	合計一〇二〇五六一 (成平) (成平) 一千四百餘戸断煙 (成平) 一千四百餘戸断煙 (成平) 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11 11	科 目 金 額	合計 三四八 〇二 維 情方(安出) 全 類 型 新典 111 〇〇 有 新典 111 〇〇 有 正要 111 〇〇 有
한타더니▲지금와서는 한바더러하아씨금을으실 산으로 바이오지는 주는 다양이 이 의 지 만든 이 있다나 이 이 이 있다나 자기를 하다 있다는 지 말을 다 하나 있는 이 안이 가 이 보다는 사이의 하는 것이 안이나 나는 사이의 이 있다는 이 있다면 이 있다는 이 있다면 이 있다는 이 있다면 이 있다	교추측할만하다▲그런데 전하는 탈을들은즉 디방의인 만들의자는 전을받고 삼십평예터하여만들의자는 지리등에터하여 만들의자는 이 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한 한	면우리통포털도 성활이차가유적 하겠고따라서 교육도발견되아남 성신단말이야(희망성)▲ 낙취자 어납두関회가 날마독벌써삿치막 보이동 보이 이현상으로 불지하 보이 등 이 한 상으로 받이 등 이 한 상으로 불지하 보이 등 이 한 상으로 받이 등 이 한 상으로 받이 등 이 한 상으로 받아 등 이 한 상으로 받아 된 이 한 수 있는 이 한 상으로 받아 된 이 한 상으로 받아 된 이 한 수 있는 이 한 상으로 받아 된 이 한 수 있는 이 한 상으로 받아 된 이 한 수 있는 이	다모아이다 ▲그러한터 중복리사이다 사이 보기 여겨도 소작인조합이다 무 이 시 다 중도에 순용하던 중에 일반다 하 다 하 라 한 다 다 다 가 다 한 번 되 지 아이라는 것 하 나 사이를 보기 하 다 나 사이를 보기 하 나 사이 이 사이를 보기 하 나 사이 이 사이 하 나 이 사이 하 나 이 사이 하 나 이 사이 하 나 이 사이 이 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나 나	바 조합이 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수 수	京橋博士講演會 電場教育記 院洞教育 日間三十銭(鏡城) 中土高橋亨氏セ去二十一日午後一地力の出張中り總督府視學官文原地力の出張中り總督府視學官文原地力の出張中り總督府視學官文原地力の出張中り總督府視學官文原	四十錢、無氏名十二圓、富居與 會五十圓、雄恭教會四十圓、慶 會五十圓、雄恭教會四十圓、慶 會五十圓、雄恭教會四十圓、慶 可一一段、無氏名十二圓十錢、清准教 四十錢、無氏名十二圓十錢、清准教	指述中其常捐业各次書で左半川市 の送す・鏡城邑の十六間家屋・員 の送す・鏡城邑の十六間家屋・員 の送す・鏡城邑の台二百五十條圓 成地各数會のは發起す・同何金・ 別世も後其遺族・爲の・自寧視祭 別世も後其遺族・爲の・自寧視祭 別世も後其遺族・爲の・自寧視祭	中 木石橋 薬薬彩 奥 水華 全職代、金成水、朱學風、李始煥、金學祖、金成水、朱學風、李始煥、金學祖、安與泰、李允河、鄭寅峻、林東龍、安與泰、李允河、鄭寅峻、林東龍、安與泰、李允河、鄭寅峻、林東龍、安興森、全西道、美黎島、全島山、張樂瑞氏、李田宮、美黎山、金藤、金田宮、美黎山、金田宮、美黎山、金田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安田宮、安	少維國後接會致起 同人 一個以上出捐申七者) 一個工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一工程 一一	二十日   七一般   2   1   1   1   1   1   1   1   1   1
北南昌西路道北南西山の東北南昌西路道	及雜貨商 <b>协 信 商店</b> 水青邑 四門內	北青女子公立普通學校	青松普通學校 北青郡泥谷画	理學士 <b>趙 榮</b> 碩	北南县区里 宗 拉和	化曹素 金 秉 變	浩寅	北青邑郡廣前 北青邑郡廣前 北青邑郡廣前 北青邑郡廣前 升	京 中央 (東京 )	本支局配着朴元直解任地代4种完 本支局配着朴元直解任地代4种完 本支局配着朴元直解任地代4种完 本支局配着朴元直解任地代4种完
北京昌南門東	版人宿 金 學 洛 北青邑两門通	北青邑四門通 北青邑四門通	水	醫 生 吳 壽 日 北青邑西里青日局	世島局・七月ノヌール 世島局・千俊傑・株田・北南島市海道・主・金・慶・洪	唐章对豪山司大 <u>英</u> 房和着局李 柱 俊		和洋雜貨廠全 洪 寬	和持権貿易本の一旦を表現を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を対象を	北青邑附門內 化青邑附門內 化青邑附門內 化青邑附里 水青邑四里 北青邑四里 北青邑四里
木洋貨閥 村獲養級 委裁帽木 南 托縫子雜 北	成南洋 飛 震 監 監 監 形 で 総 造 所	青同一	布閣 大級	都各 金	北青邑東里	水信月轉車 補 永 報 永 報 永 報 永 報 永 報 永 報 永 報 永 報 永 報 永	<b>繁華順</b> 同印 刷部	李陽洙	北青昌2里 北青昌2里 北青昌2里	質維
易 商 名	物 流 金 发 这 业	北青邑南路通 と 俊	北青五北青支	雅台耶 <b>是</b> 在 與	北青郡老德丽事務所	北青洋服店北青洋服店	里內邑	(선조) 논져 ] 구수만야하 ]	推	1
館 平 太生 妓红 新 中 大 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女 女	姜		料理太 平 锭 李 雪 平 锭	파보하운 Be 이 우리 의 수 Be 임 이 로 성 실 축 하 함 거 다	女生 中 第	整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整 整	永风	北青島市豊道北青島市豊道北青島市豊道北青島市豊道北青島市豊道	紅北青文藝會 北青島市斯通 北青島市斯通	(R
<b>事</b> 更投 五 <b>方</b> 洞	第四回 北 〇 時 手 全十五篇三十一卷中 新七、八種四卷上集	お花がけかせを纏まれた。 大活劇 おお 大活劇 全十五編三十一条	一 特約 古	迎 續 聖 和 国	米関サニリングの一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学の一大学	当二十一日(日曜) 早日   海  本   1 名	原 京義線新幕釋前 京義線新幕釋前 京義線新幕釋前 京義線新幕釋前 京義線新幕釋前	中	東熱個人練日收三剛以上特約店具 大学 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	北 青 島 内 北 青 島 内 市 駅